

現状を知ってみんなで守る夕張川

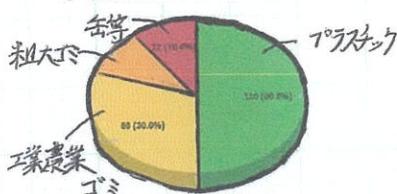
作者：栗山小学校3年生

・村・北川・山崎

石岡・岡村・丹生・佐藤

夕張川のアミの実能

夕張川のゴミのうちわけ



↑清掃活動の様子

なぜ魚のためにゴミを減らすが

ゴミを減らすための工夫

ここまで、タ張川の現状を知り、水環境に目を向いたことだらう。そこで、自分流で出来るゴミの削減の工夫を紹介する。皆さんは5尺を知つてゐるから。5尺とは3尺の「リサイクル」スローガンになるものを感じさせると、う事だ。リサイクルの他に、リペア・リユース。リユースが追加されたものである。

一つ目「R E C Y C L E リサイクル」は、ゴミになるものを減らすところだ。例えば、生ゴミの水分を良く切り、捨てる。料理を食べ残さなりよラにする等の事だ。

二つ目「R E C Y C L E リサイクル」は、使い捨てずに、そのままの形状で何度も使用する事だ。例えば、まだ使えるものを使い、有効のをリサイクルショップを利用し、有効活用するなどのことだ。

三つ目「R E C Y C L E リサイクル」は、材料として再生して使うことだ。例えば、資源になれる物をし、ゴミ分別し、出す事だ。また、ゴミの分別方法は、栗山町環境政策課に聞くのがあつたのだ。

他のにもホームや、家庭ごみの分け方、出し方と云う冊子を参考にするのもおすすめだ。

四つ目「R E C Y C L E リサイクル」修理。修繕しながら物を大切に使うことだ。例えば、電池が切れても電池交換をして、使い続ける。ズボンなどが破れた時は、自分で布を縫ひ、長く使う等の事だ。

五つ目「R E C Y C L E リサイクル」は、使い済みの製品を販売店へ返すことだ。また、そもそも必要以上に物を買ふ、もうう事はできるだけ控えることをおすすめする。

これらを参考に、家庭でゴミの分別をしつづりを行つてほしり、また、この文章を読み、一人一人が意識を改めたのなら、小さな事から行動に移してほし。